
バカだなあ

翠

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカだなあ

【Nコード】

N7135B

【作者名】

翠

【あらすじ】

付き合って半年の彼と私。最近、彼は忙しくてなかなか会えない。「逢いたい」って思うのは私だけ？彼ってよく分かんない！！！！ねえ、ほんとに私の事好きなの？

（前書き）

なんとなく。

書いてみようかなあ〜と。

休み中ってなんだか寂しくありませんか???.?

「・・・今週末はあいてる？」

「ん〜・・・ごめん。今週はやらなきゃいけないことが一杯あってさ・・・」

「そっか・・・。じゃあ、またね。」

「おう。ごめんな。」

電話を切ってベッドに倒れこむ。

彼からの断りの台詞を丁寧に伝えてくれた有難い電話を見つめ、溜め息一つ。

「なんでかなあ・・・」

付き合ってから早くも半年の彼と私。

最近彼と会えることがなくなって、悲しい週末。

付き合いだしたときは一緒にいることが多かったから、これだけ会えないと・・・。

何かと忙しい彼。

ちよとでもいいから会いたいんだけど・・・。

そうもいかなくて・・・

へこむ。

別に会えなくても理由があるなら結構平気な私。

ちゃんと「好きだよ」って解るならそれでいい。

だけど・・・いまいちよく分かんない彼。

私の誕生日会の日

「呼ばれなくても行くよ」

つてめちやくちゃ嬉しい台詞を言ってくれたのに、当日になって「行けないや」なんて言い出したりする・・・。

なかなか会えなくて、久しぶりに会えると思って、楽しみにしてたら来れないなんて・・・。

一人外を眺めて泣いた。

でも、会えたときは黙って手を繋いでくれるし、頭だっけ撫でてくれる。

彼とは趣味も合うし、何より一緒にいて心地良い。

「自然に」

この言葉がしっくりくる。

彼と私の行動は自然なのだ。

なのに・・・

彼は結構、乙女心が理解できてない。

大事なときに道を反れる・・・

そして憎めない。

怒りたくても彼には彼の事情がちゃんとあって彼の考えがあって・・・

それが分かってからは無理に「逢いたい」なんて言えない・・・。

彼の考えは尊重したい。

家族を大切にする彼。

自分に任されたことがあると必要以上に一生懸命やる彼。

自分にとって一番に優先すべきことがしっかり分かっている彼。

意外と自分に厳しい彼。

ホントに私のこと好き！？って思うことが多々あるけど。

でも・・・やっぱり会いたいもんは会いたい。

溜め息。

でもって・・・もうそろそろ限界が近い。

「土曜日さあ、カラオケ行こーぜ！」
男友達からの誘い。

「アイツも来るしさ！！！」

この一言で決まった。

よし！

今度こそ久しぶりに会えるぞ！！！！
意気込む私。

「・・・。」

はあ・・・。

来ないとか・・・。

この場に及んで・・・。

そんな・・・。

皆がテンション上げてはしゃいでる中、無理に笑うのはキツイものがある・・・。

――――っ馬鹿!!!!!!!!!!

心の中で叫んでも聞こえるはずもないけど。

叫びたくもなるのよ!!!!!!

もう、かれこれ何ヶ月会ってないっけ???

一・二・三・・・もうすぐ四ヶ月めですが!!!!!!!!!!
どうして?

私ばかり会いたい気持ちで一杯で・・・。

忙しいのは分かるけど・・・。

彼は何を考えているの?

よく分かんないよ!!!!

週に一回か二回の電話。

しかも十分そこそこ。

長くて二十分いくかいかないか・・・それもよっぽどの時のみ。

彼が浮気してるとか、そんなのは心配してない。

でも、寂しい。

メールはたまにくれる。

たいてい土曜日の朝か昼。

くれた時は素直に嬉しい。

「最近なかなか時間作れなくてごめん。」

とか

「頑張ってるんだけど・・・ホントにごめん」
とか。

謝罪の言葉ばっかだけど、くれないよりやっぱり嬉しい。

ちなみにメールをくれるようになったのはつい最近。

田舎町の私たちの町では高校生だろうが携帯を持ってない人だって居るのだ。

そんな彼は彼のお母さんの携帯を使ってメールしてくる。

私も彼もあんまり携帯を必要とする人間じゃないから、私はパソコン。

彼からのメールが来ても「返事はいいいよ。親の携帯だし。」って言われる。

それもちよつと悲しい。

カラオケから疲れて帰ってきて・・・

ベッドに倒れこむ。

ちよつと泣きたくなつた。

でも、ぐつと堪える。

いちいち泣いてたら彼とは付き合えない。

それが分かった今、あまり期待をしない事にした。

・・・

期待はしない。

パソコンのスイッチを押す。

しばらくするとデスクトップが浮かび上がる。

メールの受信箱をチェック。

「新着メール一件」

・
・
・

期待はしない。

でも・・・

少しだけ期待してしまう・・・。
ほんの少しの期待を込めてクリック。
なぜか緊張する一瞬。

f r o m
彼のメアド。
件名

俺と愉快的な仲間達。

私って

ホント馬鹿。

どうしようもなくバカだよ・・・

「明日、日曜日必ず会えるようにするから。」

思わず涙が出た。

バカだなあ・・・。

たったコレだけなのに・・・

嬉しいなんて。

いろんなこと許せちゃうなんて・・・

バカだなあ・・・

・
・
・

やっぱり君が好き。

(後書き)

どうですか？

やはり文章力がなくて・・・。
思うように書けませんでした。

好きな人とは一緒にいたいですね。

いつまでも手を繋いでいたいと思っています。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7135b/>

バカだなあ

2011年1月27日03時06分発行